

# 明月

みょう  
げつ



昨年12月7日、すす払いを行いました。皆様のおかげで大変きれいになりました。ご協力ありがとうございました。集合写真には写っていない方もいらっしゃいますが、ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

## 【みょうげつ】

第162号  
<発行>  
令和8年1月20日  
<発行所>  
明法寺  
安佐町久地 5627  
電話 837-0348  
FAX 837-2770

<編集>  
寺尾 仁



## 住職一語

新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いいいたします。さて、伝道掲示板に掲げたのは、本願寺第八代蓮如上人のお言葉です。

ある時、蓮如上人にこう悩みを打ち明けた人がいました。

「私は、穴だらけのかごに水を汲むようなもので、教えを聞いているときはありがたく思うのですが、その場を一歩出ると、すぐに元の心に戻ってしまいます」

それに対し、蓮如上人は次のように答えられました。

「かごをそのまま、水の中につけなさい。わが身を仏法の水にひたしておけばいいのだ」

(『蓮如上人御一代記聞書』意訳)

私たちもお寺の本堂でお聴聞をしている時は、「まことそうよう、有り難いことゆのう」「うかな」と世間のことが心の中心

に戻ってしまいます。「これは皆様からよくお聞きすることです、私自身もまさにその通りです。

しかし、「忘れても良い」と思うのです。かごで水を「汲もう」とする姿についてです。私たちは常に自分中心に物事を考え、「自分のものさし」で物事

